

令和2年度（県立川崎高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 項目・目標別実施結果

項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
公務外非行の防止 (法令遵守意識の向上)	法令遵守意識の向上により公務外の不祥事を防止する。また、若手職員の育成にも留意する。	県職員による公務外非行の事案について職員全体が共有し、法令遵守の意識が高まるように取り組んだ。また、中堅以上の職員であれば理解している内容も丁寧に扱うことにより、若手職員の意識向上につながった。
児童生徒に対するわいせつ、セクハラ行為の防止	公務員倫理意識を徹底し、わいせつ、セクハラ行為を未然に防止する。	わいせつ、セクハラ事案について職員全体で共有するとともに、わいせつやセクハラととらえられかねない言動や行動についても理解を深めることにより未然防止につなげることができた。
職場ハラスメント (パワハラ、セクハラ、マタハラ等)の防止	公務員倫理意識を徹底し、職場ハラスメントを未然に防止する。	ジェンダーに関することも含めた倫理意識に関して研修会その他の機会にこまめに取り上げることにより、職場におけるさまざまなハラスメントに対する職員の意識が高まった。
体罰、不適切指導の防止	生徒の人権に配慮し、体罰等が起こらないようにする。	外部講師を招き、発達障害等に関する人権研修会を実施し、さまざまな生徒や職員への人権に配慮する意識を高めた。体罰等不適切な指導防止に向けて引き続き職員の意識を高める必要がある。
成績処理及び履修指導に係る事故防止	校内のチェック体制を整え、マニュアルの適切な運用に基づき事故を未然に防止する。	成績処理については、担当グループからその都度配布されるマニュアルに従い、適切な処理に努めた。今後とも綿密なチェック体制を維持し、事故防止につなげたい。履修指導については、担任、副担、担当グループによる複数チェックを実施し、事故防止に努めた。
進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	校内のチェック体制を整え、マニュアルの適切な運用に基づき事故を未然に防止する。	共通テスト導入に伴うマニュアル細部の見直しを行い、周知することにより適切に書類作成を行った。未然に事故を防止するため今後も担当者間の連携をより一層密にし、職員全体への的確な指示を引き続き徹底していく必要がある。
入学者選抜に係る事故防止	マニュアルの適切な運用に基づき事故を未然に防止する。	マニュアルに基づいて業務を遂行することにより、事故を未然に防止することができた。
生徒の個人情報の収集・取扱いについて	生徒の個人情報の収集・取扱い・管理について講じ、個人情報の流出を未然に防ぐ。	USBメモリーの管理をはじめとする県からの指示が浸透し、外部への個人情報の流出を未然に防止することができた。定期試験期間前後にシュレッダーの使用を禁止することにより誤廃棄を防止できた。
適切な県民対応・保護者対応	電話での対応を始め、適切で正確に対応する策について講じ、事故を未然に防ぐ。	電話での対応等に関しては年度初めより何度となく具体的な方法について細かな説明がなされ、職員全体で実践できた。

会計事務等の適切 執行及び業務執行 体制の確保	相互チェック体制に より、適正な経理処 理等を行う。	会計業務については複数による相互チェック体制のも と、適切に執行できた。
-------------------------------	----------------------------------	---

○ 令和2年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和3年度に取り組むべき課題

月1回の事故防止会議及び不祥事防止研修会のみならず、職員会議や始業時の打ち合わせ等の機会を活用し、教職員間での課題の共有と意識の向上が図れた。

令和3年度へ向けては

- (1) 成績処理及び進路関係書類の作成及び取り扱いに係る事故防止、体罰、不適切指導の防止に引き続き取り組むとともに、会計処理の変更に適切に対応し、適正な処理を行う。
- (2) 不祥事防止研修は始業時の打ち合わせ時間などにも随時実施していく。
- (3) 職員間のコミュニケーションを密にして、情報共有することにより事故防止に努める。